



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

2020年3月期 第1四半期 決算補足資料

大陽日酸株式会社
2019年7月29日

目次

1. 2020年3月期 第1四半期業績

- 1) 業績概要
- 2) セグメント別業績

2. 2020年3月期 通期業績予想

- 1) 業績予想概要
- 2) セグメント別業績予想

3. 参考資料

- 1) 売上収益開示区分
- 2) 非経常収益・費用明細
- 3) 要約キャッシュ・フロー計算書（連結）
- 4) 要約財政状態計算書（連結）
- 5) 重要経営指標（連結）
- 6) 事業別売上収益割合
- 7) 大陽日酸のガス供給体制

1 - 1. 業績概要

単位：億円	19/3月期 1Q実績 利益率	20/3月期 1Q実績 利益率	前年同期比 増減率	20/3月期 通期予想 (5/13発表) 利益率
売上収益	1,586	2,103	+517 +32.6%	8,900
コア営業利益	139 8.8%	217 10.3%	+78 +55.9%	950 10.7%
非経常損益	8	-6	-14	70
営業利益	147 9.3%	210 10.0%	+63 +42.7%	1,020 11.5%
金融損益	-5	-28	-23	-155
税引前四半期利益	142	182	+40	865
法人所得税	-40	-54	+14	-270
四半期利益	101	127	+26	595
(四半期利益の帰属)				
親会社の所有者に帰属する四半期利益	96 6.1%	122 5.8%	+26 26.2%	570 6.4%
非支配持分に帰属する四半期利益	4	5	+1	25

- 為替レート：（USD→円）前期1Qレート 109.53円/USドル 当期1Qレート 109.67円/USドル、（EUR→円）当期1Qレート 122.87円/ユーロ
- 2020年3月期は、資産効率改善の一環として保有資産の売却を行い、非経常損益で70億円を計上する予定です。



1 - 1. 業績概要

【売上収益】

単位：億円	19/3月期 1Q実績	20/3月期 1Q実績	増減率	20/3月期 通期予想 (5/13発表)
国内ガス事業	826	838	+1.4%	3,750
米国ガス事業	445	496	+11.6%	2,010
欧州ガス事業	-	440	-	1,730
アジア・オセアニアガス事業	251	261	+4.1%	1,110
サーモス事業	63	65	+4.1%	300
合計	1,586	2,103	+32.6%	8,900

【営業利益】

単位：億円	19/3月期 1Q実績	20/3月期 1Q実績	増減率	20/3月期 通期予想 (5/13発表)
国内ガス事業	61	56	-7.6%	306
米国ガス事業	31	52	+69.7%	190
欧州ガス事業	-	69	-	265
アジア・オセアニアガス事業	33	26	-21.5%	115
サーモス事業	17	19	+12.6%	94
消去又は全社	-3	-6	-	-20
コア営業利益 計	139	217	+55.9%	950
非経常損益	8	-6	-	70
営業利益	147	210	+42.7%	1,020



1-2. セグメント別業績：国内ガス事業

単位：億円				19/3月期 1Q	20/3月期 1Q	増減率
売上収益	ガス	パッケージ	セパレートガス 他	36	36	+0.3%
			パッケージ 小計	36	36	+0.3%
		バルク	セパレートガス	124	122	-2.0%
			炭酸ガス	56	55	-2.4%
			ヘリウム	10	11	+6.8%
			その他ガス	25	24	-1.2%
			バルク 小計	217	214	-1.6%
		オンサイト	セパレートガス	182	181	-0.5%
			その他ガス	18	17	-3.9%
			オンサイト 小計	200	199	-0.8%
	L Pガス			78	77	-0.7%
	特殊ガス			63	63	-0.9%
	小計			596	590	-1.0%
	機器・工事 他	ガス関連・プラント 他		140	159	+13.9%
		エレクトロニクス関連		32	29	-8.2%
溶接・溶断関連		57	58	+0.7%		
小計		229	247	+7.5%		
売上収益 合計				826	838	+1.4%
セグメント利益				61	56	-7.6%

売上収益増減要因

- ・バルク・オンサイト（セパレートガス）：
主要関連業界である鉄鋼、輸送用機器向けを中心に減少
- ・ガス関連・プラント 他（メディカル）：
医療機器販売会社アイ・エム・アイ社買収による寄与

セグメント利益増減要因

- ・燃料価格上昇によるコスト増加
- ・医療機器販売会社アイ・エム・アイ社買収による寄与
- ・経費：人件費等によるコスト増加



1-2. セグメント別業績：米国ガス事業

単位：億円				19/3月期 1Q	20/3月期 1Q	増減率
売上収益	ガス	パッケージ	セパレートガス 他	110	121	+9.9%
			パッケージ 小計	110	121	+9.9%
		バルク	セパレートガス	86	91	+5.1%
			炭酸ガス	58	60	+3.7%
			ヘリウム	15	17	+14.6%
			その他ガス	27	24	-8.8%
			バルク 小計	187	194	+3.4%
		オンサイト	セパレートガス	20	23	+14.2%
			その他ガス	3	33	-
			オンサイト 小計	23	56	+143.1%
	LPガス			4	3	-25.2%
	特殊ガス			16	17	+3.4%
	小計			342	393	+14.7%
	機器・工事 他	エレクトロニクス関連		15	11	-24.1%
		溶接・溶断関連		87	92	+5.9%
小計		102	103	+1.5%		
売上収益 合計				445	496	+11.6%
セグメント利益				31	52	+69.7%

※為替換算による影響：売上収益 +0.6億円 セグメント利益 +0.0億円

売上収益増減要因

- ・バルク：セパレートガスを中心に出荷は好調
- ・オンサイト：新規案件の稼働開始、
HyCO事業買収による貢献
- ・溶接・溶断関連：建設・エネルギー産業向けの販売好調

セグメント利益増減要因

- ・セパレートガスを中心に産業ガス関連では全般的に好調
- ・HyCO事業買収による貢献



1-2. セグメント別業績：欧州ガス事業

単位：億円				20/3月期 1Q
売上収益	ガス	パッケージ	セパレートガス 他	86
			パッケージ 小計	86
		バルク	セパレートガス	101
			炭酸ガス	70
			ヘリウム	20
			その他ガス	31
			バルク 小計	223
		オンサイト	セパレートガス	59
			その他ガス	9
			オンサイト 小計	68
		特殊ガス	21	
		小計	400	
機器・工事 他	ガス関連・プラント 他	30		
	溶接・溶断関連	9		
	小計	39		
売上収益 合計				440
セグメント利益				69

- 2018年12月に米国Praxair, Inc.から買収した欧州事業の業績を「欧州ガス事業」で開示しております。
- 買収した欧州事業の取得日が2018年4月1日だったと仮定した場合の2018年4月1日から2018年6月30日の売上収益は425億円であり、前年同期比 +3.5%増加となります。

1-2. セグメント別業績：アジア・オセアニアガス事業

単位：億円				19/3月期 1Q	20/3月期 1Q	増減率
売上収益	ガス	パッケージ	セパレートガス 他	9	9	-6.9%
			パッケージ 小計	9	9	-6.9%
		バルク	セパレートガス	47	42	-9.5%
			炭酸ガス	4	4	+6.6%
			ヘリウム	10	14	+41.9%
			その他ガス	8	7	-16.9%
			バルク 小計	69	68	-2.0%
		オンサイト	セパレートガス	8	8	+10.6%
			オンサイト 小計	8	8	+10.6%
		LPガス			35	38
	特殊ガス			68	65	-4.3%
	小計			192	190	-0.6%
	機器・工事 他	ガス関連・プラント 他		38	40	+4.8%
		エレクトロニクス関連		9	18	+101.8%
		溶接・溶断関連		11	11	+1.7%
小計		59	70	+19.3%		
売上収益 合計				251	261	+4.1%
セグメント利益				33	26	-21.5%

※為替換算による影響：売上収益 ▲7.7億円 セグメント利益 ▲1.3億円

売上収益増減要因

- ・バルクガス：東南アジアでの販売が堅調
- ・LPガス：豪州での販売は好調
- ・特殊ガス（主に電子材料ガス）：台湾で出荷減少
- ・エレクトロニクス関連機器・工事：台湾で大きく増加

セグメント利益増減要因

- ・豪州でのセパレートガスの輸送コストが増加
- ・台湾での電子材料ガスの減収による減益

1-2. セグメント別業績：サーモス事業

単位：億円		19/3月期 1Q	20/3月期 1Q	増減率
売上収益	国内	53	56	+5.4%
	海外	9	9	-3.3%
	売上収益 合計	63	65	+4.1%
セグメント利益		17	19	+12.6%

※為替換算による影響：売上収益 ▲0.5億円 セグメント利益 ▲0.2億円

売上収益増減要因

- ・国内：ケータイマグを中心に販売が堅調

セグメント利益増減要因

- ・海外：韓国での増収による増益、持分法適用会社で増益



2-1. 2020年3月期 業績予想概要

単位：億円	19/3月期 通期実績 利益率	20/3月期 通期予想 利益率	前期比 増減率
売上収益	7,403	8,900	+1,497 +20.2%
コア営業利益	658 8.9%	950 10.7%	+292 +44.3%
非経常損益	10	70	+60
営業利益	668 9.0%	1,020 11.5%	+352 +52.6%
金融損益	-47	-155	-108
税引前利益	620	865	+245
法人所得税	-183	-270	+87
当期利益	437	595	+158
(当期利益の帰属)			
親会社の所有者に帰属する当期利益	412 5.6%	570 6.4%	+158 +38.0%
非支配持分に帰属する当期利益	24	25	+1

- 2020年3月期 想定為替レート：(USD→円) 110円/USドル、(EUR→円) 125円/ユーロ
- 2020年3月期は、資産効率改善の一環として保有資産の売却を行い、非経常損益で70億円を計上する予定です。



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

2-2. 2020年3月期 セグメント別業績予想

【売上収益】

単位：億円	19/3月期 通期実績	20/3月期 通期予想	増減率
国内ガス事業	3,639	3,750	+3.0%
米国ガス事業	1,873	2,010	+7.3%
欧州ガス事業 ^{*1}	551	1,730	+214.0%
アジア・オセアニアガス事業	1,061	1,110	+4.6%
サーモス事業	278	300	+7.9%
合計	7,403	8,900	+20.2%

【営業利益】

単位：億円	19/3月期 通期実績	20/3月期 通期予想	増減率
国内ガス事業	298	306	+2.7%
米国ガス事業	156	190	+21.5%
欧州ガス事業 ^{*1}	65	265	+303.5%
アジア・オセアニアガス事業	91	115	+25.7%
サーモス事業	91	94	+2.3%
消去又は全社 ^{*2}	-45	-20	-
コア営業利益 計	658	950	+44.3%
非経常損益	10	70	-
営業利益	668	1,020	+52.6%

*1 2019年3月期 通期実績は、米国Praxair, Inc.より取得しました欧州事業の2018年12月から2019年3月までの4ヶ月の業績です。

*2 2019年3月期 通期実績で、コア営業利益に計上される欧州事業の取得関連費用（アドバイザー費用等）として27億円を計上しました。



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

(参考資料)

売上収益開示区分

セグメントごとの売上収益開示区分の内訳は下記の図表の通りです。

開示区分	内容
ガス	酸素、窒素、アルゴンをはじめとする産業ガス、L Pガス、特殊ガス
パッケージ	お客さまに充填容器（シリンダー）を配送し、ガスの利用方法に応じて供給する形態
セパレートガス 他	セパレートガス（大気から分離して製造する酸素・窒素・アルゴン）を含む、すべてのガス
バルク	お客さまの構内に液化ガスの貯槽を設置して、ガスの利用方法に応じて供給する形態
セパレートガス	酸素、窒素、アルゴン
炭酸ガス	炭酸ガス、ドライアイス
ヘリウム	ヘリウムガス
その他ガス	水素などのその他のガス
オンサイト	お客さまの隣接地に生産工場を設置して、配管を直接繋いで、常時供給する形態
セパレートガス	酸素、窒素、アルゴン
その他ガス	水素、一酸化炭素などのその他のガス
L Pガス	プロパンガス、ブタンガス
特殊ガス	半導体や液晶パネルの製造工程で使用される電子材料ガス、標準ガス、高純度ガスなど
機器・工事 他	ガス利用時の付帯設備、ガス純度を上げるための精製設備、設備据付工事など
ガス関連・プラント 他	供給設備・除害装置などのガス関連機器、空気分離装置（Air Separation Unit）など
エレクトロニクス関連	エレクトロニクス向けの設備据付・配管工事、不純物を除去する精製装置など
溶接・溶断関連	ガス溶接・溶断を含む金属加工で利用される機器・器具類、溶接棒など（ハードグッズ）

非経常収益・費用明細

単位：億円	19/3月期 1Q実績	20/3月期 1Q実績	前年 同期比
コア営業利益	139	217	+78
非経常損益	8	-6	-14
営業利益	147	210	+63

【非経常収益・費用明細】

19/3月期 1Q実績		20/3月期 1Q実績	
明細	金額	明細	金額
国内土地売却益	9億円	国内土地売却益等	2億円
その他	-1億円	alfi事業再構築関連費用 (サーモス)	-5億円
		関係会社事業売却に伴う減損損失	-3億円
合計	8億円	合計	-6億円

要約キャッシュ・フロー計算書（連結）

単位：億円		19/3月期 1Q実績	20/3月期 1Q実績	前年 同期比
	税引前四半期利益	142	182	+40
	減価償却費・償却費	112	205	+93
	運転資金増減	-23	-19	+4
	その他	-70	-26	+44
①営業活動によるキャッシュ・フロー		160	341	+181
	設備投資	-178	-196	-18
	投融資	-5	-2	+3
	その他（資産売却等）	32	5	-27
②投資活動によるキャッシュ・フロー		-152	-194	-42
フリー・キャッシュ・フロー（①+②）		8	147	+139
純有利子負債		2,861	9,600	+6,739
調整後ネットD/Eレシオ		-	1.60	-

- 純有利子負債：有利子負債 - 現金及び現金同等物*
*IFRSでは、預入期間が3ヶ月を超える定期預金は「現金及び現金同等物」に含まれませんが、当社より開示しております「純有利子負債」では同項目を考慮して算定しております。
- 調整後ネットD/Eレシオ：（純有利子負債 - 資本性負債*1） / （親会社の所有者に帰属する持分 + 資本性負債*1）
*1 資本性負債：ハイブリッドファイナンス*2で調達した負債のうち、格付機関から資本性の認定を受けた額（調達額の50%）
*2 ハイブリッドファイナンス：負債でありながら、利息の任意繰延、超長期の返済期限、清算手続き及び倒産手続きにおける劣後性等の資本に類似した特徴を有しているファイナンス形態

要約財政状態計算書（連結）

単位：億円	19/3月期 期末実績	20/3月期 1Q期末実績	比較 差異		19/3月期 期末実績	20/3月期 1Q期末実績	比較 差異
現金及び現金同等物	596	594	-2	有利子負債*	10,054	10,238	+184
営業債権	1,979	1,862	-117	営業債務	1,059	992	-67
棚卸資産	662	701	+39	その他	2,237	2,230	-7
その他	232	275	+43	負債 合計	13,351	13,460	+109
流動資産 合計	3,471	3,434	-37	資本金・剰余金等	4,295	4,405	+110
有形固定資産*	6,393	6,635	+242	その他の資本の構成要素	-229	-422	-193
のれん	4,377	4,313	-64	親会社の所有者に帰属する持分	4,066	3,983	-83
無形資産	2,538	2,478	-60	非支配持分	292	299	+7
その他	929	881	-48	資本 合計	4,358	4,283	-75
非流動資産 合計	14,238	14,309	+71	負債・資本 合計	17,710	17,743	+33
資産 合計	17,710	17,743	+33				

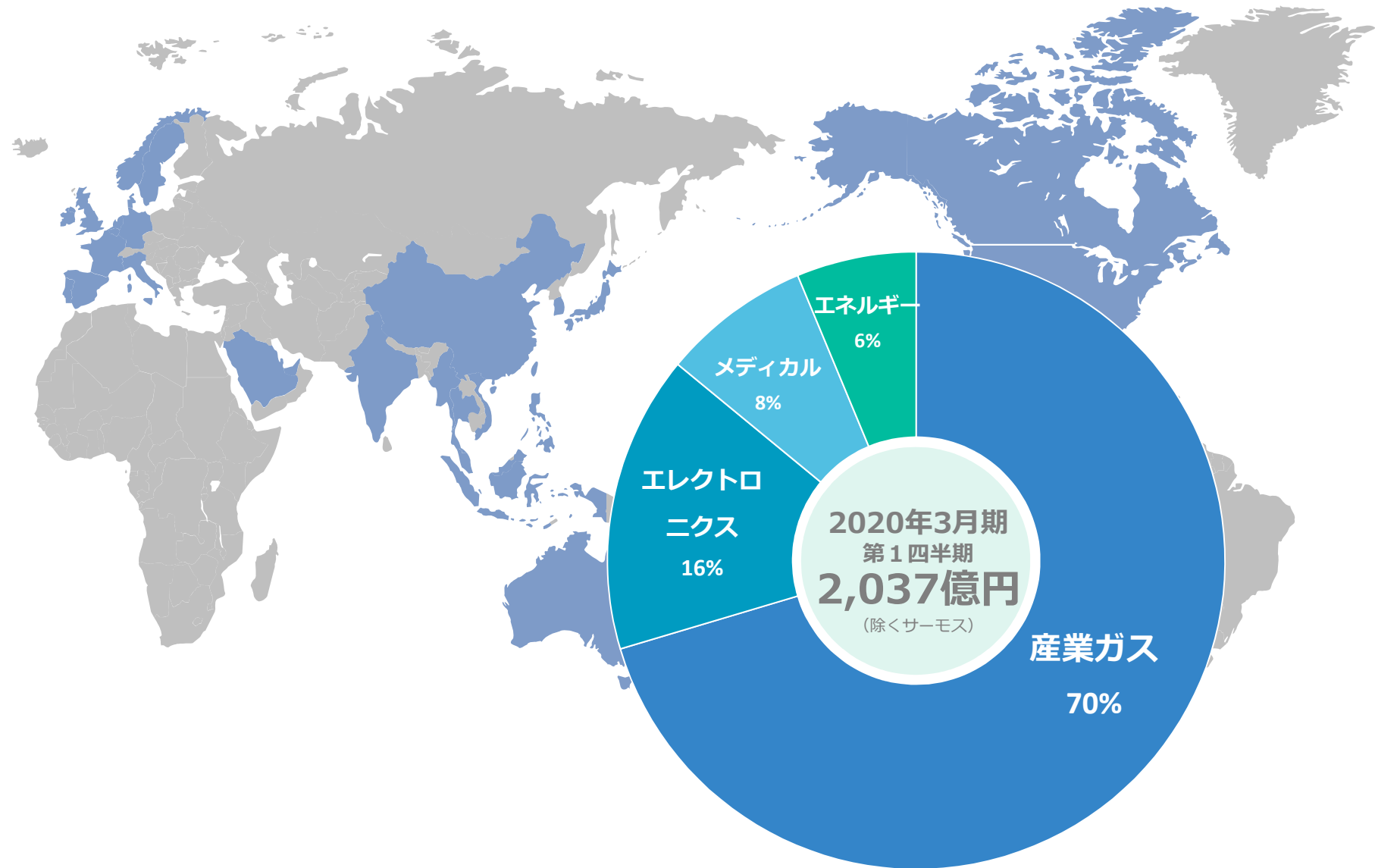
* IFRS第16号（リース）を適用することにより、本基準の適用開始日において、当社グループのリース関連の資産の帳簿価額が341億円増加し、同時にリース負債が346億円増加しております。

重要経営指標（連結）

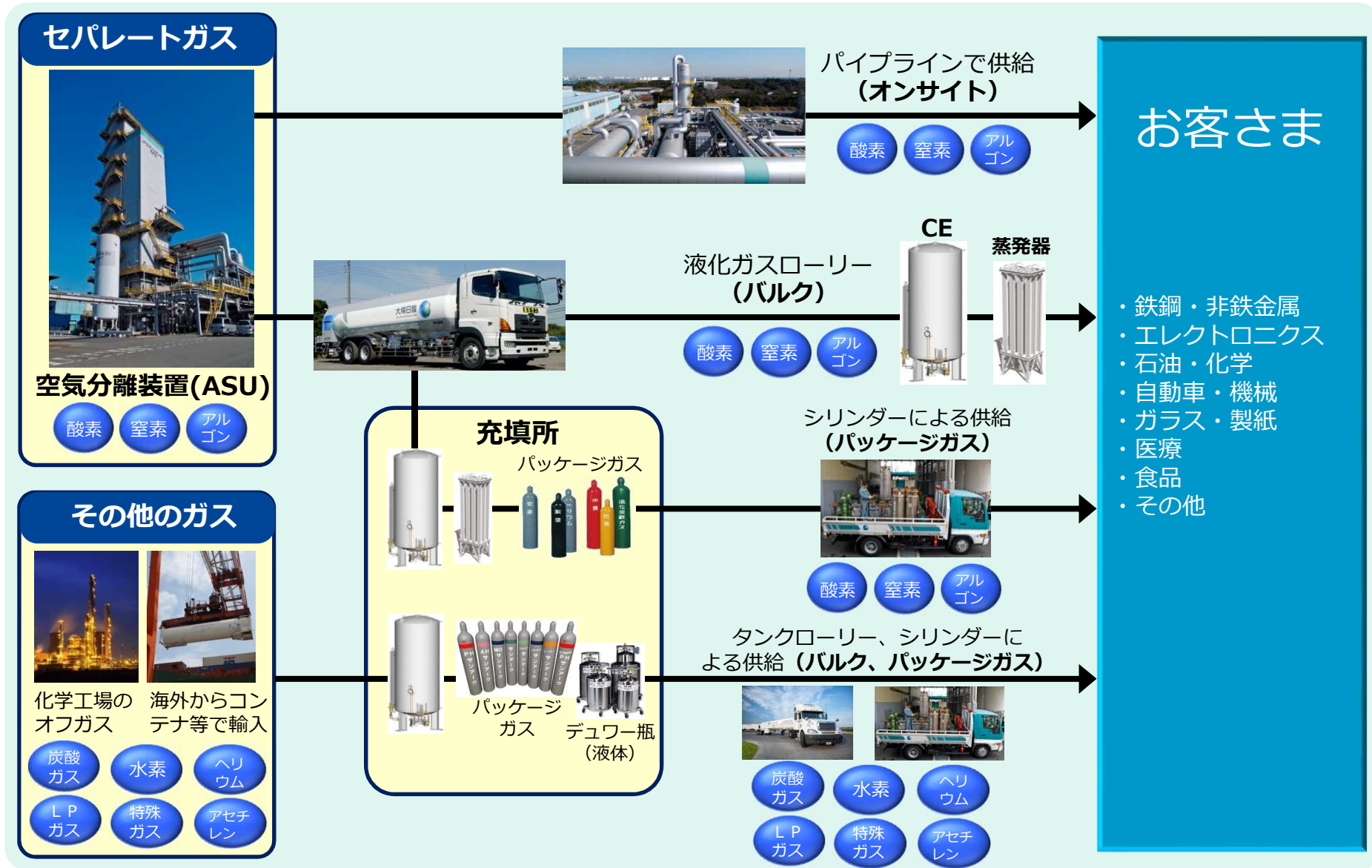
	19/3月期 1Q実績	20/3月期 1Q実績	19/3月期 期末実績	20/3月期 期末予想
基本的 1 株当たり当期利益	22.38円	28.24円	95.42円	131.71円
海外売上収益比率	44.5%	57.5%	47.9%	55.0%
ROE	-	-	10.4%	13.4%
ROCE	-	-	6.2%	6.6%
一株当たり年間配当金	-	-	25円	26円
配当性向	-	-	26.2%	19.7%
設備投資（資金ベース）	178.85 億円	196.67 億円	741.52 億円	1,034.00 億円
投融資*	5.60 億円	2.68 億円	6,911.26 億円	-
減価償却費	112.41 億円	205.15 億円	561.11 億円	830.00 億円
有利子負債残高	3,375.62 億円	10,238.05 億円	10,054.02 億円	9,837.00 億円
純有利子負債残高	2,861.20 億円	9,600.54 億円	9,411.17 億円	9,181.00 億円

* 上記で開示している「投融資」は、投資活動によるキャッシュ・フローの投融資（投資有価証券の取得、子会社株式の取得、事業譲受）です。

事業別売上収益割合



大陽日酸のガス供給体制



注意事項

- 本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料には将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されております。これらは現時点で入手可能な情報により当社が判断、想定したものであり、実際の業績はさまざまなリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度などがございますが、これらに限りません）を含んでおります。
- このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございまして、ことをお含みおきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますよう、お願い致します。